

報 村
もろろ

第五號 昭 和 21 13 1
發行所 昭 探 村 役 場
印刷所 是 澤 印 刷 所

[illegible]

平岡のセリ市は去る十一月九日午前十時から篠原安助邸で行われた。

けり。その成績は明説の
 である。半市と見て感上
 は、同じ半市でも高價な
 もあれば無つて安い子牛
 たり。高いうしでも安い
 とも同有管理には判にす

[illegible]

滯紙

金は相當の事由がない
うしても納めなければ
いので納期限まで必ず

金造で完

今度本郷では長野縣
男が二三升も持たぬ山
兵種を貰ひに往きまし
御やき西國銀ひにおき
低減したのを買ひて津

の税金に

金がつきます。十日で
 百圓の延滞金を徴収しな
 さい。それでも
 い時は最後に財産選押
 事になります。財産選
 押を盗したあげくがこん
 な結果です。
 資料をよければよいです
 記のない場合は青葉
 菜（ありま）です。蕎麦
 は濃煎飼料になります
 やぎは小学校四年
 生も簡単に飼うことが
 できるし、うしは
 やぎは八ヶ月で成乳
 になります。

二、龍壁することの
出典は『書影の図説』
紙空境でなく且つ書前片よら

一、建設費に附された地賦
東北(興南道)安撫府松花江
省北河東省西北省湖北省
吉林省黑龍江省山東省直隸
山西省雲南省貴州省平定元山
便物と同上

五、發行開始日 本年十一月五日

六、造幣の資金の支拂
地方及び自治會館は普通の銀
貨と同一

厚生

公聴會の出席狀況

尚當時の小部落別一〇〇%以上の出席状況を左に掲げ
参考と致します

部落名	パーセント	部落名	パーセント
...	...	...	...

戶下（荒谷區）
佐禮（南川區）

下野	(a)	100%
惣奈幾	(南川區)	100%
トモ村	(家代藏)	100%
下方	(b)	100%
黒葛原	(黒葛原區)	100%
中野	(c)	100%
草木原	(v)	100%
上根	(小野井區)	100%
中畑	(七ヶ山本村區)	100%
上畑	(板垣藏)	100%
中野	(d)	100%

下組 (P)

災害復舊狀況

一、 家代校復舊完成

假學舎に二ヶ月の不自由な日を
送つた低学年兒童も二月元

てよいそであります。

十一月頃完成せれば六月頃
の農繁期に乳が搾れるやうな
そでです。その時期が一季よ
いそです。價格は牝が五六
千圓位の決定であります。や

う分に奪んで居りま

淡水魚族

事務所も復舊す
根柢の他復舊に急ぎつとあつた。事務所並に總合事務所も完全な復舊を終つた。

三、道路復舊状況

水の貯水率を利用し

自轉車の無鑑札
はいけません

が、明年度からは更に

船に上りなす船、鯉等の淡水と塩水を多量に放流することに、たつたての村は都合に對して、相當の補助金を交付して、鯉の機能を十分發揮して頂きたいと考へてゐます。その財源は、近衛局で下さい。發見

働く少年少女

[illegible]

一、四葉糖皮とはどんなものか

(一) 彌十五歳以上滿十八歳未満の者は平均証提費が要ります。

(二) 滿十二歳以上滿十五歳未満の者は使用許可証証明費が要ります。

は道路の本體にあつたが命大事なで、腹に押し込めて貰ふてこれだけの取費で済んで、それで船代に付加して船が作費の幾分か負担軽減で、船主も救済が望める。

近代の民法にもこれをも容れず

二 その手続

（一）第一に今年註明費を自分の本錢の投資からもちぎる。

(2) 第二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

(四) 服主から仕事の種別員
の勤務時間等

(四) 明瞭な接見人から

でもよいといふことを
(7)そして同親の後見人と
共に慈善基金會を出
頭してだせばよろしいの
です
厚 産
てきに型分して工藝作物、
園藝金作物たる立派花生ニ
→葉緑素樹えんを作物につ
んと根づきを露みだすべし
ある肥料も必要→すべし
日陰栽培はいくらでも出来る

十二月



農事ノモ
普及事務所
一、玉葱の植付 二畝以上の
肥大な苗を植へる

是れは既に到来した。
金貯り金儲を如何に切り捨て
くべきか。指導者を養成する
ことに緊要一歩擧つて克服し
なければならぬ。大きな課題

二、甘藷の定植 藷が丸味

夏櫻甘らんの収穫 七月
ミ 葱の秋刈 太りつけた葱
の下葉まで順次土を寄せ
る
多彩な縣文化祭
歌の代表 雲松さん出演
十一月三日より六日迄の縣主
催文化祭に縣の所望あつて、
僅文化祭の名人赤松孝海、
人田眞樹、村古代民謡とし工

下旬練床に播いたもの
四百餘位となり、隔次

種する
イモチにかまつた稻わら
は全部燃やす

吾輩は大したものです。もう一度出てもちうつもりです。尙此の次には塙崎さんのきや

